

入札説明書及び設計図書等に対する質問回答書

工事名：天保山大橋橋梁点検台車更新工事（2026-岸）			問合せ日：2026 年 7 月 16 日 回答日：2026 年 7 月 24 日
記載箇所	質問	回答	
1. 別表-3. 入札手続に関する期間等 2. 別記様式-9（工事見積書）	1. 見積書審査方式対象工事ですが、審査結果は公表されるのでしょうか。公表されるのであれば通知日をご教示ください。 2. 別記様式-9工事費内訳書（内訳書-1）において、橋梁点検台車製作工-製作加工-作業用足場について、単位：「t」、数量：「35.6 t」、記載事項は「単価」となっております。当該項目は作業用足場分全体の総額を記載するべきでしょうか。それともt当り単価を記載するべきでしょうか。また、備考欄に記載内容の考えを記載すればよろしいでしょうか。	1. 審査結果はHP等では公表されず、参加資格の有無の結果の通知日に併せて通知いたします。なお、添付1の（別記様式－9）の作成上の留意点の通りお考え下さい。 2. 総額（金額）を併せて記載するものとお考え下さい。 なお、別記様式-9（工事見積書）を添付2の通り修正します。 また、備考欄には単価の積み上げ根拠等を可能な限り記載いただくようにしていただき、橋梁点検台車製作工における項目では記載例を基に内訳を記入するようお願いいたします。	

3. 別記様式-9（工事見積書） 金抜き数量総括表 金抜き設計書	3. 別記様式-9工事費内訳書（内訳書-7）の作業構台設置・撤去数量の合計が「25.200 t」と記載されておりますが、金抜き設計書および金抜き数量総括表では「1,318空m³」と記載されており、数量合計が相違しております。どちらの数量を採用すればよろしいでしょうか。	3. 作業構台設置・撤去数量は1,318空m³となります。 なお、別記様式-9（工事見積書）を添付2の通り修正します。
4. 1 7. 配置技術者の確認 別記様式-3.2.2	4. 若手技術者が確定していない場合は誓約書（別記様式-3.2.2）を提出との記載がありますが、本工事の配布資料に別記様式-3.2.2が見当たりません。本工事において若手技術者が未確定の場合、誓約書（別記様式-3.2.2）の提出が必要との理解ですが、様式をご提供いただけますでしょうか。	4. 添付3のとおり、様式を添付いたします。
5. 特記仕様書6-4 Hi-Telus	5. 6-4に記載のHi-TeLus利用料は46か月分控除となっておりますが、別表-4の全体工程表には余裕期間が含まれており、6-1・3)では実工期は余裕期間を含まないとされています。Hi-TeLus利用料は実工期ベースと考え、43か月分（10,000円/月×43か月）ではないでしょうか。	5. Hi-TeLus控除は全体工期に適用しております。
6. 金抜き数量総括表	6. 各項目の数量・内容について確認したいので、数量計算書などの設計成果品を貸与いただけませんか。	6. 数量計算書等の基本設計に係る成果品については、契約後貸与するものとしております。
7. 金抜き数量総括表（工場製作工・試験調査費） 製作仕様書 4-4-1・5) 性能確認試験	7. ”吊元支持金具”・”吊り架台”・”吊元金具”・”吊りビーム”について、試験調整費（1式）は対象外であり、工場組立（仮組立検査）として個別・部材ごとに検査をおこなうことでよろしいでしょうか。	7. 記載のとおりとお考え下さい。

8. 設計書 内訳書-1 図面 更新点検台車全体組立図	8. 設計書 内訳書-1 には、図面「更新点検台車全体組立図」にある数量表の一部のみが計上されています。橋梁点検台車製作工として計上しているものは、設計書 内訳書-1に記載されているもののみと考えてよろしいでしょうか。	8. 記載のとおりとお考え下さい。
9. 設計書 内訳書-1 製作仕様書	9. 製作仕様書には、工場塗装の塗装仕様が記載されていますが、設計書 内訳書-1に工場塗装工が計上されていません。工場塗装工を行う場合は、設計変更協議の対象と考えてよろしいでしょうか。	9. 工場塗装は当初より各製作加工費に含まれるものとお考え下さい。 なお、対象となるものは作業用足場、歩廊、リフターとし、金額を記載しない設計書の内訳書-1については添付4の通り修正し、別記様式 - 9（工事見積書）についても添付2の通り修正します。
10. 設計書 内訳書-1 図面 取替要領計画図(その1)	10. 設計書 内訳書-1 にある"吊元金具"とは、図面 取替要領計画図(その1) Step2-4 にある"吊り元ビーム"を指すのでしょうか。異なる場合は、"吊元金具"、"吊り元ビーム"のそれぞれの詳細を明示願います。	10. 記載のとおりとお考え下さい なお、添付5の通り 図面 取替要領計画図における文言を"吊元金具"と統一し、修正します。
11. 設計書 内訳書-1 図面 取替要領計画図(その6)	11. 吊り元支持金具の製作重量について、設計書内訳書-1では1tとなっていますが、取替要領計画図(その6)にある主要資機材一覧では250kgとなっています。吊り元支持金具の製作重量は設計書 内訳書-1に記載のとおりと考えてよろしいでしょうか。	11. 記載のとおりとお考え下さい。
12. 金抜き数量総括表	12. 吊元支持金具設置および撤去について、金抜き数量総括表で岸P-10(AP-2)(左岸側)、(中央径間)、岸P-11(AP-3)(右岸側)で各1tが計上されています。これには、既設動力車撤去用の吊元支持金具設置・撤去は含まれていないと思われます。既設動力車撤去用の吊元支持金具設置・撤去は、別途、設計変更協議の対象と考えてよろしいでしょうか。	12. 既設動力車用の吊元支持金具設置・撤去分について 含めることが正しく、数量は4tとなります。金額を記載しない設計書の内訳書-3については添付6の通り修正し、金抜き数量総括表については添付7の通り修正します。

13. 設計書 内訳書-3 既設点検台車構造図(その16)	13. 内訳書-3 トロリ線撤去について、"付属品含む"とありますが、これは、碍子付きハンガーおよび支持碍子と考えてよろしいでしょうか。それ以外に想定しているものがありましたら明示願います。	13. ご記載の範囲のほか取付け金具までとお考え下さい。
14. 金抜き数量総括表 図面 取替要領計画図(その6) 既設点検台車構造図(その25) 設計書 内訳書-1	14. 金抜き数量総括表 "既設点検台車解体"の岸P-10(AP-2)(左岸側)において75.2tが計上されていますが、設計書 内訳書-1の吊元支持金具・吊り架台・吊りビームの各重量、取替要領計画図(その6)にある主要資機材一覧の吊元設備重量、既設点検台車構造図(その25)記載の既設点検台車(左岸控車)重量の合計と一致しません。75.2tの内訳について明示願います。	14. 既設動力車および既設控え車の解体を想定しており、動力車1台+左岸控え車1台+吊り架台4つ(2台分)+吊りビーム2つ(2台分)になります。 なお、上記の合計は94.2tとなり、中央径間及び右岸の既設控え車の解体重量についても修正を行います。 金額を記載しない設計書の内訳書-3については添付6の通り修正し、金抜き数量総括表については添付7の通り修正します。
15. 金抜き数量総括表 図面 取替要領計画図(その6) 既設点検台車構造図(その25)	15. 金抜き数量総括表 "既設動力点検台車運搬"において32.242tが計上されていますが、取替要領計画図(その6)にある吊り元支持金具、吊り架台、吊元設備の各重量および既設点検台車構造図(その25)の動力車の重量を合算したものと一致しません。"既設動力点検台車運搬"重量32.242tの明細を明示願います。	15. 既設動力車1台+吊り架台2つ+吊元設備4つ+吊元支持金具4つ+吊りビーム1つになります。 なお、上記の合計は52.262tとなり、既設控え車の運搬重量についても修正を行います。金額を記載しない設計書の内訳書-3については添付6の通り修正し、金抜き数量総括表については添付7の通り修正します。
16. 設計書 内訳書-4 金抜き数量総括表 図面 更新点検台車全体組立図	16. 設計書 内訳書-4 の更新点検台車地組重量として113.024tが計上されていますが、内訳書-1に記載されている作業用足場、歩廊、走行装置、電気装置、リフターの各重量の合計と異なります。また、更新点検台車全体組立図にある重量とも一致しません。更新点検台車地組重量113.024tの内訳を明示願います。	16. 内訳書-1に記載されている作業用足場、歩廊、走行装置、電気装置、リフターの各重量の合計のほか、吊りビーム1つ(1台分)、吊り架台6つ(3台分)、吊元設備12つ(3台分)になります。 なお、上記の合計は118.436tとなり、金額を記載しない設計書の内訳書-4については添付8の通り修正し、金抜き数量総括表については添付7の通り修正します。
17. 図面 取替要領計画図(その6)	17. 取替要領計画図(その6)の主要資機材一覧において吊りビームの重量が"2,1000"とありますが、これは21,000kgと考えてよろしいでしょうか。	17. 記載のとおりとお考え下さい。 なお、図面 取替要領計画図を添付5の通り修正します。

18. 金抜き数量総括表 図面 取替要領計画図(その6)	18. 金抜き数量総括表"更新点検台車設置"の"岸P-10(AP-2)(左岸側)"重量が33.612tとなっておりますが、これに取替要領計画図(その6)の吊り架台、吊元設備重量を加算しても更新点検台車地組質量49.2t(岸P-10(AP-2)(左岸側))となりません。33.612tの内訳を明示願います。	18. 更新点検台車（左岸側）の設置重量は、更新点検台車1台＋吊り架台2つ＋吊元設備4つから計上しており、この合計が33.612tとなります。なお、更新点検台車には作業用足場、歩廊、走行装置、電気装置、リフターを含みます。一方で、更新点検台車（左岸側）の地組重量は更新点検台車1台＋吊り架台2つ＋吊りビーム1つ＋吊元設備4つから計上しており、この合計が54.612tとなります。（No.16における添付7参照）
19. 設計書 内訳書-6 特記仕様書 別表-5	19. 設計書 内訳書-6 にあります作業船係留には、特記仕様書 別表-5に記載されている全ての船(台船、引船、揚錨船、非航起重機船)に関する係留工が計上されていると考えてよろしいでしょうか。	19. 記載のとおりとお考え下さい。
20. 図面 仮設計計画図(中央径間側)	20. 図面 仮設計計画図(中央径間側)でラフテレーンクレーンが土のう製作場付近に配置する計画となっておりますが、工事用車両進入路に大型土のうおよび敷鉄板を設置する計画となっております。ラフテレーンクレーンや更新点検台車の搬入を工事用車両進入路以外から実施できると考えてよろしいでしょうか。	20. 搬入は工事用車両進入路を用いると考えてください。 なお契約締結後に、詳細設計及び関係機関との協議の結果により搬入出計画を決定するものとし、方針の変更や追加費用が生じる場合は設計変更の対象とします。
21. 図面 仮設計計画図(右岸側) 設計書 内訳書-7	21. 仮設計計画図(右岸側)の作業構台-1～4の記載数量を加算すると1854空m3となり設計書 内訳書-7の記載数量と異なります。施工費の算出は内訳書-7の記載数量で行っていると考えてよろしいでしょうか。	21. 記載のとおりとお考え下さい。 なお、図面 仮設計計画図を添付9の通り修正します。
22. 特記仕様書 4-3-3 設計書 内訳書-7	22. 特記仕様書 4-3-3 では、作業構台を製作設置とありますが、設計書 内訳書-7では摘要欄に作業構台賃料と記載されています。想定している作業構台の仕様の詳細を明示願います。また、製作または賃料のどちらで施工費を算出しているのか明示願います。	22. 当社積算では賃料を想定しております。 特記仕様書の4-3-3を添付10の通り修正します。

23. 特記仕様書 4-3-5	23. 特記仕様書 4-3-5において、足場材は路下からの吊込みによる搬入とありますが、これは、岸P-11(AP-3)での足場材の搬入方法と想定されます。岸P-10(AP-2)(左岸側)で使用する足場材の搬入方法について明示願います。	23. 近傍の街路まで吊り込み運搬し、AP-2の路下までの人力搬入、および仮設機材を用いた吊り上げを想定しています。
24. 設計書 内訳書-8 図面 取替要領計画図(その1)	24. 取替要領計画図(その1)Step1-2に記載されています"元支持金具及び操作のための足場"とはどのような足場を想定しているのか、その詳細を明示願います。また、この足場については、設計書 内訳書-8のパイプ吊り足場設置・撤去には含まれていないと考えてよろしいでしょうか。	24. ご質問の足場については、仮設備を操作する際に使用する下面足場を想定します。なお、これを設置する際に既設点検台車を用いてパイプ吊り足場の設置も想定（step1-3）しておりますが、これについては設計変更の対象とします。
25. 設計書 内訳書-8 金抜き数量総括表 図面 取替要領計画図(その5)	25. 設計書 内訳書-8および金抜き数量総括表のパイプ吊り足場設置・撤去には、取替要領計画図(その5)Step12-1にある既設動力台車撤去に必要なパイプ吊足場の設置・撤去が含まれていないように思われます。既設動力台車撤去に必要なパイプ吊足場の設置・撤去・賃料については、設計変更協議の対象と考えてよろしいでしょうか	25. 既設動力車の撤去に必要なパイプ吊足場の設置・撤去分について、含めることが正しく、数量は64㎡となります。金額を記載しない設計書の内訳書-8については添付11の通り修正し、金抜き数量総括表については添付7の通り修正します。
26. 設計書 内訳書-10	26. 設計書 内訳書-10の仮設材運搬費に作業構台が含まれていません。作業構台の運搬費については設計変更協議の対象と考えてよろしいでしょうか。	26. 作業構台の運搬費については共通仮設費の率に含まれるものとお考え下さい。
27. 仮設計画図(中央径間側) 金抜き数量総括表	27. 仮設計画図(中央径間側)の作業土工について平面図では120m3となっていますが、側面図では106m3(金抜き数量総括表では掘削106m3、埋戻し95m3と記載)となっています。中央径間の施工を行う際の作業土工は掘削が106m3、埋戻しが95m3と考えてよろしいでしょうか。	27. 記載のとおりとお考え下さい。 なお、図面 仮設計画図を添付9の通り修正します。

28. 特記仕様書 2-2 工事費内訳書 29. 工事費内訳書	28. 特記仕様書 2-2において、現場環境改善費の補正に関する記載がありますが、工事費内訳書に現場環境改善費の記載がありません。工事費内訳書において、現場環境改善費を計上する場所を明示願います。 29. 工事費内訳書に工場管理費、工場原価の記載がありません。工場管理費、工場原価を計上する場所を明示願います。 以上	28. 金額を記載しない設計書の工事費内訳書を添付12のとおり修正します。 29. 金額を記載しない設計書の工事費内訳書を添付12のとおり修正します。 以上
---	---	---

添付 1

< 別記様式-9_工事費見積書
(作成上の留意点) >

(別記様式－９)の作成上の留意点

工事費見積書の作成に関する留意事項

注１) 申請書等の提出に際し、下記の工事費見積書（諸経費含む）を作成の上、提出してください。なお、作成様式は問いません。（交付図書の「金額を記載しない設計書」を用いることも可能です。）

注２) 提出する工事費見積書は、阪神高速が提示した金額を記載しない設計書（金抜設計書）の工事費内訳書及び内訳書に示す全ての項目又は指定された項目に対する、標準案の単価・数量・金額並びに算出根拠としてください。

また、具体的な作成にあたっては、下記事項についても留意してください。

i) コスト縮減提案がある場合

・コスト縮減提案項目であることを明示してください。

・コスト縮減提案内容を反映した単価、数量等を記載してください。

ii) 「仮設工」「共通仮設費」「設計費」における１式計上項目については、計上内容(項目、単価、数量等)が分かる資料(内訳明細書等)を添付してください。

注３) 工事費見積書は、契約制限価格の算出資料の参考とするものですが、以下の i)～iv) のいずれかの項目に該当する場合は、当該工事費見積書を無効とし、その者が提出した申請書等も無効とする場合があります。また、原則として契約制限価格への反映結果については、競争参加資格の確認結果の通知時に併せて通知するものとします。

i) 工事費見積書の提出がない場合、又は記載事項に不備がある場合

ii) 提出された工事費見積書の項目で、単価・数量・金額が明らかにされていない場合

iii) 工事費見積書の内容（単価・数量）が不明確で算出根拠とは認められない場合、及び他の資料提出者の資料を入手して使用している場合

iv) 提出された工事費見積書を審査した結果、真摯な見積もりを行っていないと認められる場合

※契約目安価格方式を適用する工事については「契約制限価格」を「契約目安価格」に読み替えするものとします。

注４) 工事費見積書は返却しません。

添付 2
< 別記様式-9(工事見積書) >

工事名：天保山大橋橋梁点検台車更新工事(2026-年)

内訳書	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
内訳書-1	橋梁点検台車製作工	製作加工	作業用足場	t	35,600			部員材料費、製作加工費、間接労務、工場運送費を含む	金額の内訳を以下を参考に記載願います ・部員材料費 800,000円 ・製作加工費 800,000円 ・間接労務費 800,000円 ・工場運送費 800,000円
		製作加工	歩留	t	3,300			部員材料費、製作加工費、間接労務、工場運送費を含む	金額の内訳を以下を参考に記載願います ・部員材料費 800,000円 ・製作加工費 800,000円 ・間接労務費 800,000円 ・工場運送費 800,000円
		製作加工	吊元支持金具	t	1,000			部員材料費、製作加工費、間接労務費を含む	金額の内訳を以下を参考に記載願います ・部員材料費 800,000円 ・製作加工費 800,000円 ・間接労務費 800,000円
		製作加工	吊り架台	t	18,000			部員材料費、製作加工費、間接労務費を含む	金額の内訳を以下を参考に記載願います ・部員材料費 800,000円 ・製作加工費 800,000円 ・間接労務費 800,000円
		製作加工	吊り金具	t	1,000			部員材料費、製作加工費、間接労務費を含む	金額の内訳を以下を参考に記載願います ・部員材料費 800,000円 ・製作加工費 800,000円 ・間接労務費 800,000円
		製作加工	吊りビーム	t	21,000			部員材料費、製作加工費、間接労務費を含む	金額の内訳を以下を参考に記載願います ・部員材料費 800,000円 ・製作加工費 800,000円 ・間接労務費 800,000円
		走行装置	走行H5 Type 1、走行H5 Type 2 遮断防止装置、距離検出器	t	6,300			機體費を含む	金額の内訳を以下を参考に記載願います ・機體費 800,000円
		電気装置	制御・操作盤、駆動源、その他ケーブル、計測器	t	7,200			機體費を含む	金額の内訳を以下を参考に記載願います ・機體費 800,000円
		リフト	横行リフト、リフト本体	t	1,800			機體費、工場運送費を含む	金額の内訳を以下を参考に記載願います ・機體費 800,000円 ・工場運送費 800,000円
		工場組立		t	95,200			ブロック組立費、機體組付費、電気配管・配線費を含む	
		試験調整費		式	1			試験調整費を含む	
内訳書-2	輸送工	輸送	陸上輸送 製作工場～天保山大橋 吊元支持金具、吊り架台、吊元設置含む	t	55,000			輸送費を含む	
		輸送	陸上輸送 製作工場～横浜神宮 吊りビーム含む	t	40,200			輸送費を含む	
内訳書-3	既設点検台車撤去工	吊元支持金具設置		t	4,000			吊元支持金具設置費、架設工具損料を含む	
		既設架上台車撤去	吊り架台、吊元設置含む	t	93,936			既設架上台車撤去費、架設工具損料を含む	
		既設動力点検台車撤去	吊り架台、吊元設置含む	t	30,262			既設動力点検台車撤去費、架設工具損料を含む	
		吊元支持金具撤去		t	4,000			吊元支持金具撤去費を含む	
		トオリ撤去	付属品含む	t	3,264				
		既設点検台車解体	吊元支持金具、吊り架台、吊りビーム含む	t	146,550			既設点検台車解体費を含む	
内訳書-4	更新点検台車設置工	更新点検台車組組		t	118,436			更新点検台車組組費を含む	
		更新点検台車設置	吊り架台、吊元設置含む	t	97,436			更新点検台車設置費、架設工具損料を含む	
		更新点検台車試運転		式	1			更新点検台車試運転費を含む	
内訳書-5	現場塗装工	現場塗装	鉄骨部塗装 青・緑系	m ²	1.9			塗装準備費、塗装費を含む	
内訳書-7	作業ヤード整備工	作業架台設置	H-300 L=3500	t	25,200			作業架台設置費、山留材費、山留材敷設費を含む	
		作業架台撤去	H-300 L=3500	t	25,200			作業架台撤去費を含む	
		作業橋台設置	作業橋台用ユニット取組	空m ²	1,318			作業橋台設置費、作業橋台材料、作業橋台整備費を含む	
		作業橋台撤去	作業橋台用ユニット取組	空m ²	1,318			作業橋台撤去費を含む	

内訳書-8	構梁足場等設替工	6' 4' 両り足場設置・撤去	桁高≒1.5m	㎡	64			6' 4' 両り足場設置・撤去費、足場材所込費を含む	
		6' 4' 両り足場材等置料	下高足場 桁高≒1.5m	㎡	64			足場材等置料を含む	
内訳書-11	詳細設計費	現地調査		回	3				
		橋梁台座台車の詳細構造検討		式	1				
		走行装置の仕様検討		式	1				
		昇降設備（リフター）の仕様検討		式	1				
		電気制御システムの仕様検討		式	1				
		配線・配管の仕様検討		式	1				
		主要機器仕様のリスト作成		式	1				
		輸送・仮設・架設計画の策定		式	1				
		概算書作成		式	1				

添付 3
< 別記様式-**3.2.2** >

誓 約 書

契約の締結に当たり、「若手技術者」に関して、下記に掲げる事項を誓約します。

記

現場専任期間の開始前までに、担当技術者として、申請日時点において35歳以下の技術者を下記工事に専任で配置します。
なお、専任技術者を配置する際には、要件を満たすことが確認できる資料として入札説明書(別記様式－3. 1. 1)の作成上の留意点に記載の資料を添えて提出します。

申請工事名	天保山大橋橋梁点検台車更新工事(2026-岸)
-------	-------------------------

契約責任者
阪神高速道路株式会社
管理本部長 殿

年

月

日

誓約者

住所

商号又は名称

代表者氏名

添付 4
<金額を記載しない
設計書の内訳書-1 >

工場製作工

橋梁点検台車製作工

内 訳 書

(95.200 t当り)

内訳書-1

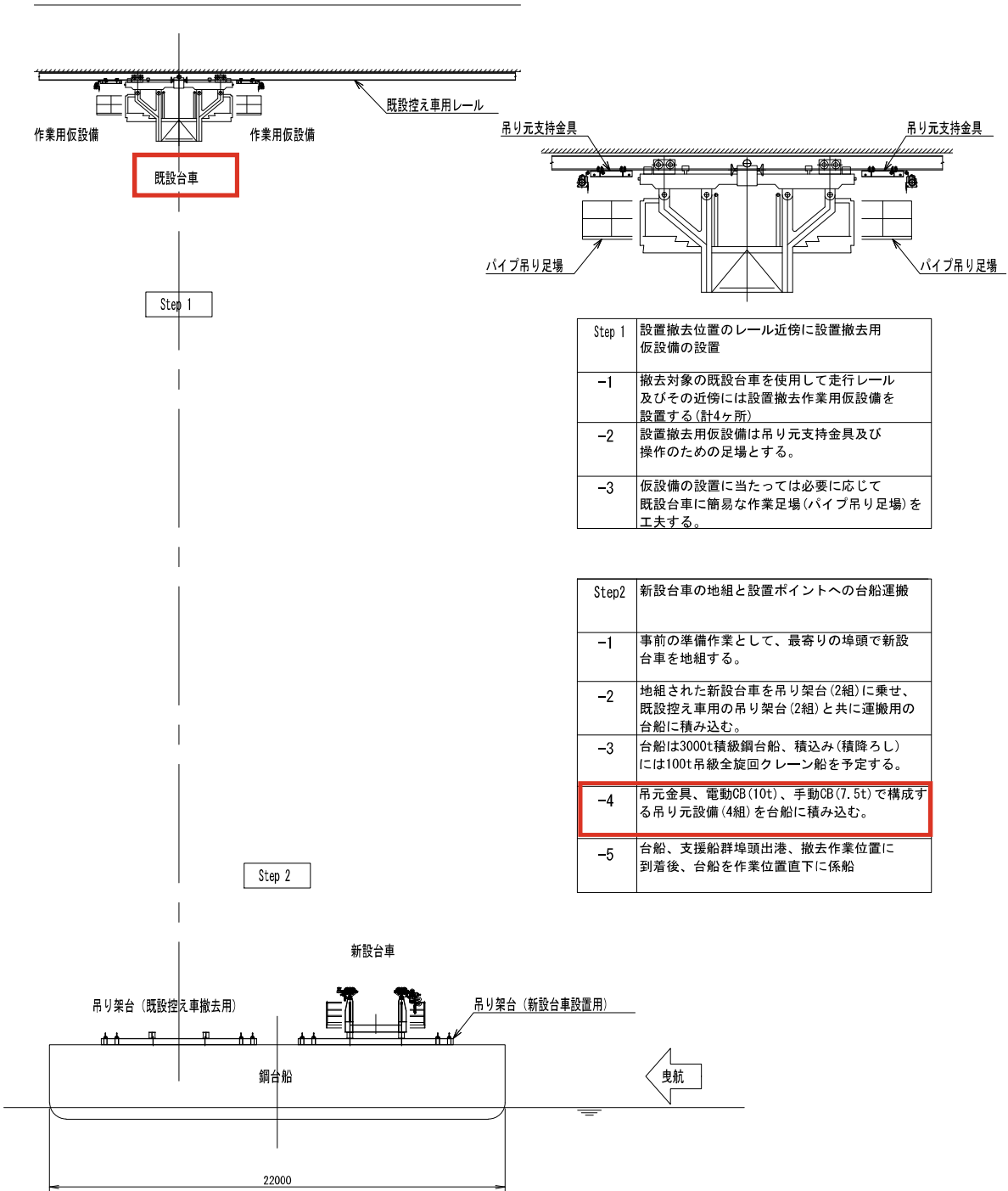
細別	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
製作加工	作業用足場	t	35.600			副資材費、製作加工費、工場塗装費、 間接労務費を含む
製作加工	歩廊	t	3.300			副資材費、製作加工費、工場塗装費、 間接労務費を含む
製作加工	吊元支持金具	t	1.000			副資材費、製作加工費、間接労務費を 含む
製作加工	吊り架台	t	18.000			副資材費、製作加工費、間接労務費を 含む
製作加工	吊元金具	t	1.000			副資材費、製作加工費、間接労務費を 含む
製作加工	吊りビーム	t	21.000			副資材費、製作加工費、間接労務費を 含む
走行装置	走行トリ Type 1、走行トリ Type 2 逸走防止装置、距離検出器	t	6.300			機器費を含む
電気装置	制御・操作盤、駆動源、 その他(コンプレッサ、計装類)	t	7.200			機器費を含む
リフター	横行レール、リフター本体	t	1.800			機器費、工場塗装費を含む
工場組立		t	95.200			ブロック組立費、機器組付費、電気配 管・配線費を含む
試験調整費		式	1			試験調整費を含む

添付 5

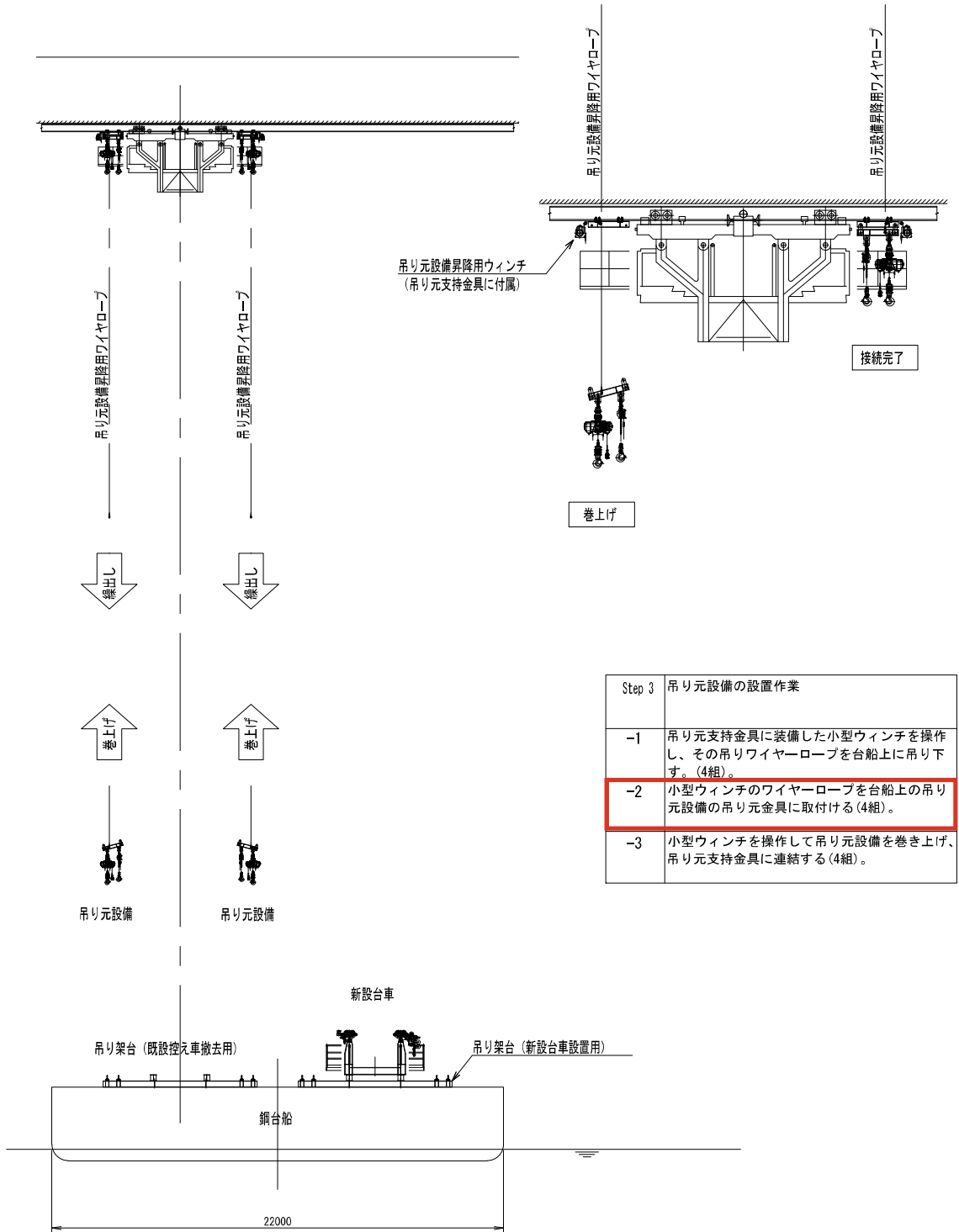
< 取替要領計画図(修正分) >

取替要領計画図（その1） 縮尺：1/300

【Step 1, 2】 撤去設置作業用仮設備の設置および新設台車の台船運



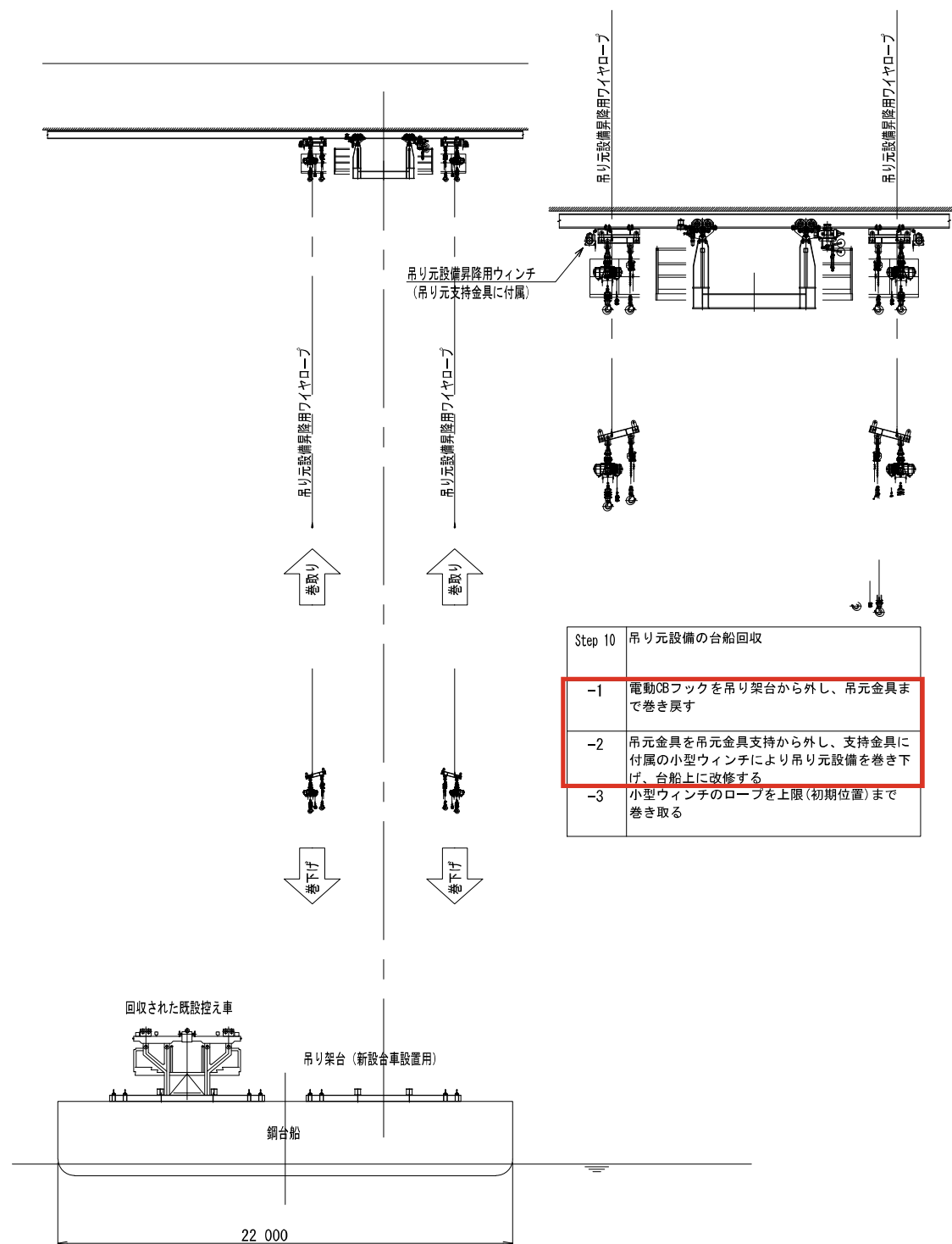
【Step 3】 吊り元設備の設置作業



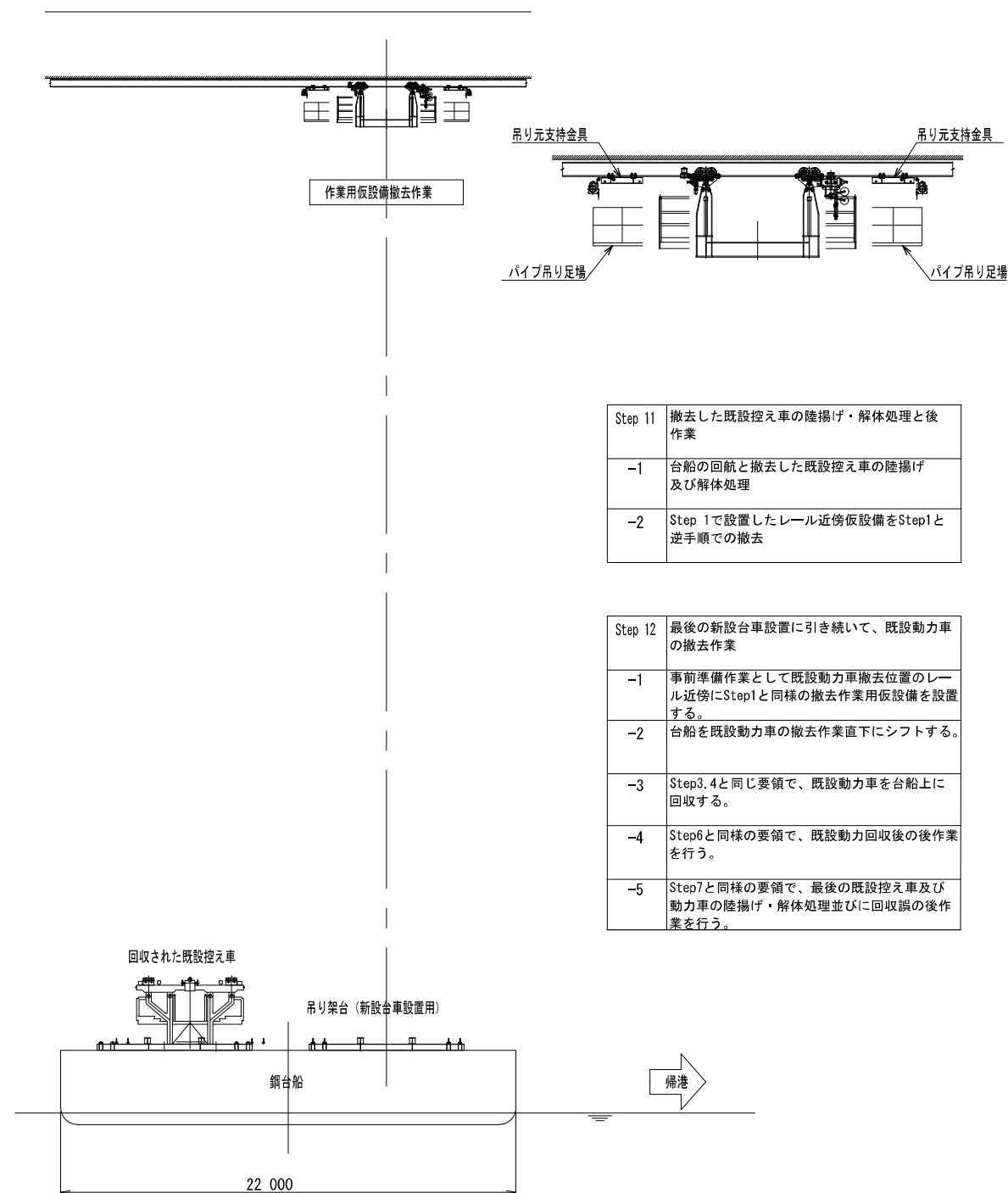
注記)・陸上作業は海上作業の応用で対処可能なため取替要領計画図は最も工程の多い海上作業を基に作成している。

取替要領計画図（その5） 縮尺：1/300

【Step 10】 吊り元設備の台船回収



【Step 11】 撤去した既設台車の陸揚げ・解体処理と後作業



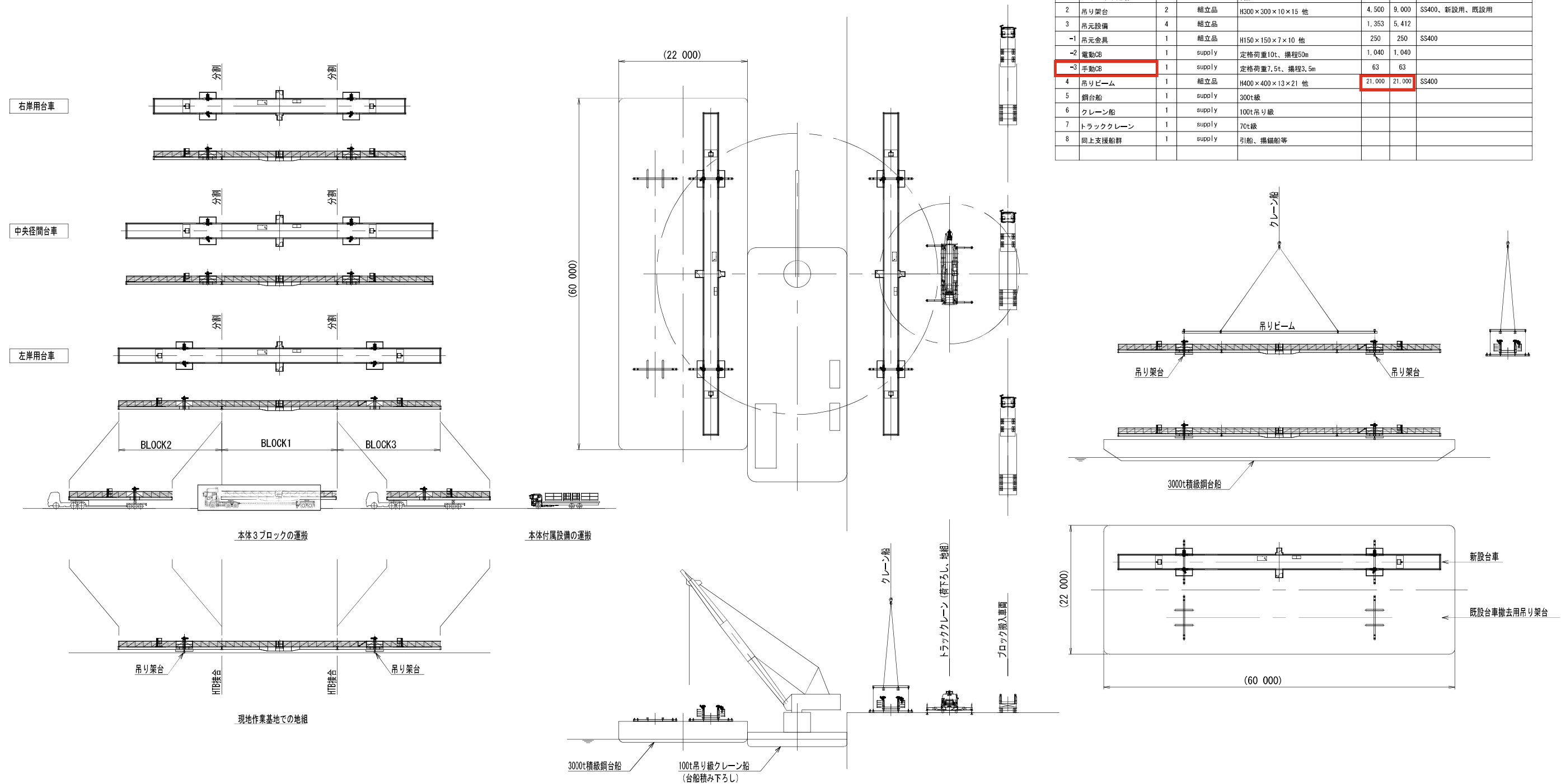
注記)・陸上作業は海上作業の応用で対処可能なため取替要領計画図は最も工程の多い海上作業を基に作成している。

設計 図	令和 6年度	設計年月日	令和 8年 2月	縮尺	図示	審 査 日	18/47
	業 務 名	天保山大橋橋梁点検台車基本設計業務					
	路 線 名	大阪府高速湾岸線					
	図 名	取替要領計画図 (その5)					
	設計者名	株式会社 長大					
担当部署	阪神高速道路株式会社管理本部管理企画部施設設備課						

取替要領計画図（その6） 縮尺：1/700

主要資機材一覧

No	名称	数量	材質	寸法/仕様	重量(kg)		備考
					単	計	
1	作業用仮設備	4	組立品		495	1,980	
-1	吊り元支持金具	1	組立品	H150×150×7×10 他	250	250	SS400
-2	ウインチ(チルクライマ)	1	supply	定格荷重2t、操程50m	145	145	
-3	パイプ吊り足場	1	組立品	16m ²	100	100	
2	吊り架台	2	組立品	H300×300×10×15 他	4,500	9,000	SS400、新設用、既設用
3	吊元設備	4	組立品		1,353	5,412	
-1	吊元金具	1	組立品	H150×150×7×10 他	250	250	SS400
-2	電動CB	1	supply	定格荷重10t、操程50m	1,040	1,040	
-3	手動CB	1	supply	定格荷重7.5t、操程3.5m	63	63	
4	吊りビーム	1	組立品	H400×400×13×21 他	21,000	21,000	SS400
5	鋼台船	1	supply	300t級			
6	クレーン船	1	supply	100t吊り級			
7	トラッククレーン	1	supply	70t級			
8	同上支援船群	1	supply	引船、揚錨船等			



(1) 新設台車の現地搬入運搬および地組作業

(2) 左岸用新設台車の浜出し（既設台車の荷上げ）作業

(3) 台車の吊り込み（荷揚げ）要領

注記）・陸上作業は海上作業の応用で対処可能なため取替要領計画図は最も工程の多い海上作業を基に作成している。

設計図	令和 6年度	設計年月日	令和 8年 2月	縮尺	図示	番	19/47
	業務名	天保山大橋橋梁点検台車基本設計業務					
	路線名	大阪府道高速湾岸線					
	図名	取替要領計画図（その6）					
	設計者名	株式会社 長大					
担当部署		阪神高速道路株式会社管理本部管理企画部施設保全課					

添付 6
<金額を記載しない
設計書の内訳書-3 >

橋梁点検台車更新工

既設点検台車撤去工

内 訳 書

(1 式当り)

内訳書-3

細別	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
吊元支持金具設置		t	4.000			吊元支持金具設置費、架設工具損料を含む
既設控え点検台車撤去	吊り架台、吊元設備含む	t	93.936			既設控え点検台車撤去費、架設工具損料を含む
既設動力点検台車撤去	吊り架台、吊元設備含む	t	30.262			既設動力点検台車撤去費、架設工具損料を含む
吊元支持金具撤去		t	4.000			吊元支持金具撤去費を含む
トリ線撤去	付属品含む	t	3.264			トリ線撤去費を含む
既設点検台車運搬		t	100.612			既設点検台車運搬費を含む
既設点検台車陸揚げ		t	100.612			既設点検台車陸揚げ費を含む
既設点検台車解体	吊元支持金具、吊り架台、吊りビーム含む	t	144.550			既設点検台車解体費を含む
スクラップ	H1	t	41.000			積込費、運搬費、スクラップ 控除費を含む
スクラップ	H2	t	1.344			積込費、運搬費、スクラップ 控除費を含む
スクラップ	アルミ(込みがう)	t	66.550			積込費、運搬費、スクラップ 控除費を含む
スクラップ	銅(下銅)	t	0.883			積込費、運搬費、スクラップ 控除費を含む
産業廃棄物処理	トリ線支持碍子	t	1.037			積込費、運搬費、処分費を含む

添付 7
< 数量総括表(修正分) >

天保山大橋橋梁点検台車更新工事(2026-岸) 金抜き数量総括表

工種	種別	細 別	規 格	区 分	単 位	岸P-10 (AP-2) (左岸側)	(中央径間)	岸P-11 (AP-3) (右岸側)				合 計
橋梁点検台車更新工	既設点検台車撤去工	吊元支持金具設置		元 設 計	t	2.000	1.000	1.000				4.000
				変更設計								
		既設控え点検台車撤去	吊り架台、吊元設備含む	元 設 計	t	32.762	31.662	29.512				93.936
				変更設計								
		既設動力点検台車撤去	吊り架台、吊元設備含む	元 設 計	t	30.262						30.262
				変更設計								
		吊元支持金具撤去		元 設 計	t	2.000	1.000	1.000				4.000
				変更設計								
		トロリ線撤去	付属品含む	元 設 計	t	0.867	1.785	0.612				3.264
				変更設計								
		既設点検台車運搬		元 設 計	t	100.612						100.612
				変更設計								
		既設控え点検台車運搬	吊り架台含む 海上部(天保山大橋～鶴浜)	元 設 計	t	48.350						48.350
				変更設計								
		既設動力点検台車運搬	吊元支持金具、吊り架台、吊元設備含む 海上部(天保山大橋～鶴浜)	元 設 計	t	52.262						52.262
				変更設計								
		既設点検台車陸揚げ		元 設 計	t	100.612						100.612
				変更設計								
		既設控え点検台車陸揚げ	吊り架台、吊りビーム含む	元 設 計	t	48.350						
				変更設計								
		既設動力点検台車陸揚げ	吊元支持金具、吊り架台、吊元設備、吊り ビーム含む	元 設 計	t	52.262						
				変更設計								
		既設点検台車解体	吊元支持金具、吊り架台、吊りビーム含む	元 設 計	t	94.200	26.250	24.100				144.550
				変更設計								
		スクラップ	H1	元 設 計	t	41.000						41.000
				変更設計								
		スクラップ	H2	元 設 計	t	0.357	0.735	0.252				1.344
				変更設計								
		スクラップ	アルミ(込みガラ)	元 設 計	t	34.200	17.250	15.100				66.550
				変更設計								
		スクラップ	銅(下銅)	元 設 計	t	0.235	0.483	0.166				0.883
				変更設計								
		産業廃棄物処理	トロリ線支持碍子	元 設 計	t	0.275	0.567	0.194				1.037
				変更設計								
	更新点検台車設置工	更新点検台車地組		元 設 計	t	54.612	32.912	30.912				118.436
				変更設計								
		更新点検台車吊り込み	吊元支持金具、吊り架台、吊元設備、吊り ビーム含む	元 設 計	t	64.612						64.612
				変更設計								
		更新点検台車運搬	吊元支持金具、吊り架台、吊元設備含む 海上部(鶴浜～天保山大橋)	元 設 計	t	64.612						64.612
				変更設計								
	現場塗装工	更新点検台車設置	吊り架台、吊元設備含む	元 設 計	t	33.612	32.912	30.912				97.436
				変更設計								
		更新点検台車試運転		元 設 計	式	1	1	1				1
				変更設計								
	係留工	現場塗装	継手部塗装 青・緑系	元 設 計	m2	0.625	0.625	0.625				1.9
				変更設計								
				元 設 計								
				変更設計								
仮設工	作業ヤード整備工	掘削	作業ヤード	元 設 計	m3		106	19				125
				変更設計								
		埋戻し	流用土	元 設 計	m3		95	17				112
				変更設計								
		大型土のう製作・設置	流用土	元 設 計	袋		127	23				150
				変更設計								
		大型土のう製作・設置	購入土	元 設 計	袋			125				125
				変更設計								
		大型土のう撤去		元 設 計	袋		127	148				275
				変更設計								
		敷鉄板設置	A: 1524×22×6096	元 設 計	m2	55.7	390.2	743.2				1,189.1
				変更設計								
				元 設 計	(t)	9.624	67.368	128.320				205.312
				変更設計								
				元 設 計	(枚)	6	42	80				128
				変更設計								
			B: 1524×22×3048	元 設 計	m2			83.6				83.6
				変更設計								
				元 設 計	(t)			14.436				14.436
				変更設計								
				元 設 計	(枚)			18				18
				変更設計								
			合計	元 設 計	m2	55.7	390.2	826.8				1,272.7
				変更設計								
				元 設 計	(t)	9.624	67.368	142.756				219.748
				変更設計								
				元 設 計	(枚)	6	42	98				146
				変更設計								
		敷鉄板撤去	A: 1524×22×6096	元 設 計	m2	55.7	390.2	743.2				1,189.1
				変更設計								
				元 設 計	(t)	9.624	67.368	128.320				205.312
				変更設計								
				元 設 計	(枚)	6	42	80				128
				変更設計								
			B: 1524×22×3048	元 設 計	m2			83.6				83.6
				変更設計								
				元 設 計	(t)			14.436				14.436
				変更設計								
				元 設 計	(枚)			18				18
				変更設計								
			合計	元 設 計	m2	55.7	390.2	826.8				1,272.7
				変更設計								
				元 設 計	(t)	9.624	67.368	142.756				219.748
				変更設計								
				元 設 計	(枚)	6	42	98				146
				変更設計								

天保山大橋橋梁点検台車更新工事(2026-岸) 金抜き数量総括表

工種	種別	細 別	規 格	区 分	単 位	岸P-10 (AP-2) (左岸側)	(中央径間)	岸P-11 (AP-3) (右岸側)				合 計
仮設工	作業ヤード整備工	作業架台設置	H-300 L=3500	元 設 計	t	8.400	8.400	8.400				25.200
				変更設計								
				元 設 計	(m)	84.0	84.0	84.0				252.0
				変更設計								
		作業架台撤去	H-300 L=3500	元 設 計	t	8.400	8.400	8.400				25.200
				変更設計								
				元 設 計	(m)	84.0	84.0	84.0				252.0
				変更設計								
		作業構台設置	作業構台用ユニット足場	元 設 計	空m3			1,318				1,318
				変更設計								
		作業構台撤去	作業構台用ユニット足場	元 設 計	空m3			1,318				1,318
				変更設計								
		作業残土処理	土砂、指定地	元 設 計	m3			124				124
				変更設計								
		産業廃棄物処理	廃プラスチック類(大型土のう)	元 設 計	t		0.127	0.148				0.275
				変更設計								
共通仮設費	運搬費	引船(作業台船) えい航費	基地(神戸港)～鶴浜(大阪港)	元 設 計	回	2						
				変更設計								
		引船(非航起重機船) えい航費	基地(神戸港)～鶴浜(大阪港)	元 設 計	回	2						
				変更設計								
				元 設 計								
				変更設計								
				元 設 計								
				変更設計								
				元 設 計								
				変更設計								
				元 設 計								
				変更設計								
				元 設 計								
				変更設計								
				元 設 計								
				変更設計								
				元 設 計								
				変更設計								
				元 設 計								
				変更設計								
				元 設 計								
				変更設計								
				元 設 計								
				変更設計								

添付 8
<金額を記載しない
設計書の内訳書-4 >

橋梁点検台車更新工

更新点検台車設置工

内 訳 書

(1 式当り)

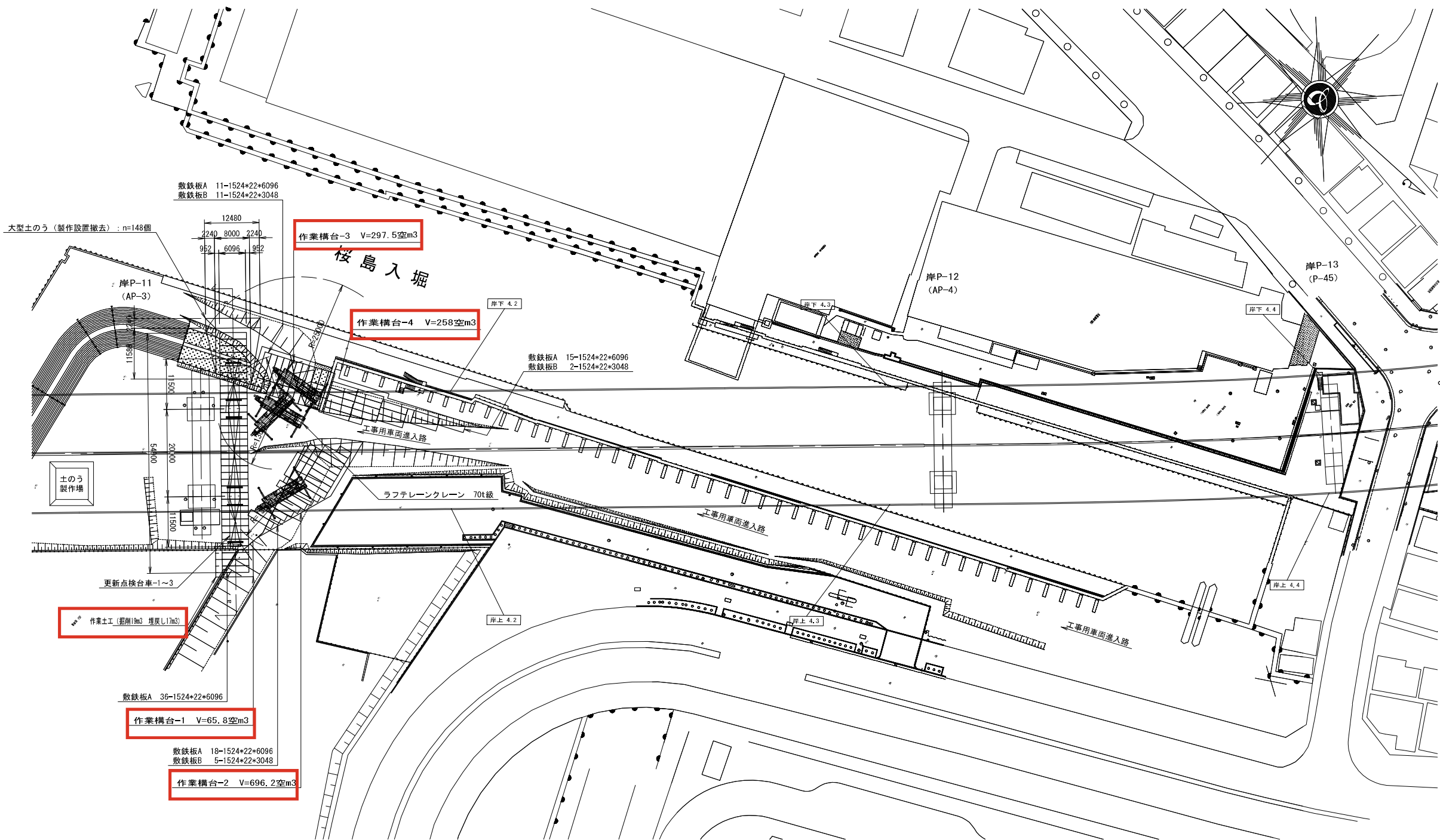
内訳書-4

細別	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
更新点検台車地組		t	118.436			更新点検台車地組費を含む
更新点検台車吊り込み	吊元支持金具、吊り架台、吊元設備、 吊りビームを含む	t	64.612			更新点検台車吊り込み費を含む
更新点検台車運搬	吊元支持金具、吊り架台、吊元設備含む 海上部(鶴浜～天保山大橋)	t	64.612			更新点検台車運搬費を含む
更新点検台車設置	吊り架台、吊元設備含む	t	97.436			更新点検台車設置費、架設工具損料 を含む
更新点検台車試運転		式	1			更新点検台車試運転費を含む

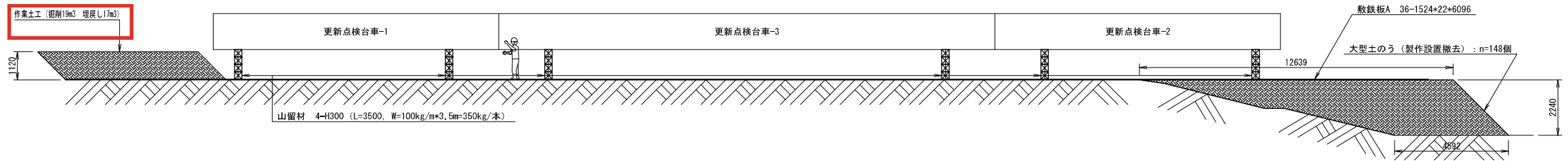
添付 9 < 仮設計画図(修正分) >

仮設計画図（右岸側）

平面図 S=1/1000



a - a S=1/200



作業フロー（案）

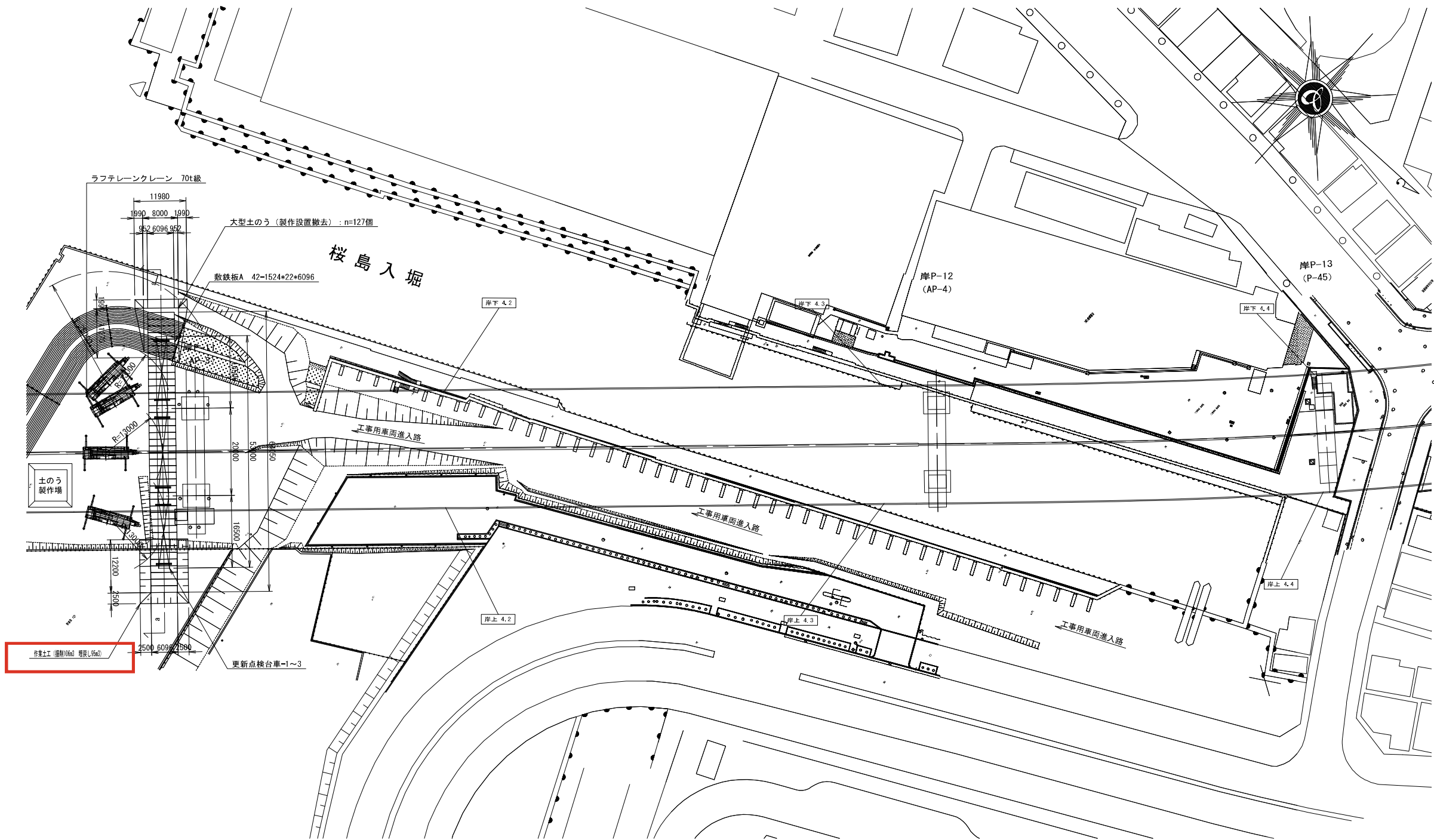
作業土工
作業構台および大型土のうの設置
敷鉄板設置
山留材設置
更新点検台車 搬入仮置き
更新点検台車 地組
更新点検台車 配線及び動作確認
更新点検台車 継手部塗装
作業用仮設備設置
吊元支持金具設置
既設控え検査台車 撤去降下
更新点検台車 上昇設置
更新点検台車 吊梁及び吊元支持金具撤去
既設控え検査台車 処分場へ搬出
更新点検台車 設置後試運転
更新点検台車 付帯設備設置
山留材、敷鉄板、作業構台、大型土のう 撤去搬出
作業土工

注記
・着手前に現地再確認のこと。
・仮設備は概数につき詳細設計後に精査のこと。
・現地確認時は2025年日本国際博覧会開催に伴う臨時駐車場であったが施工時は撤去され地形改変が想定される。
・着手にあたり現況形状を再確認を行い現地測量等実施が必要。

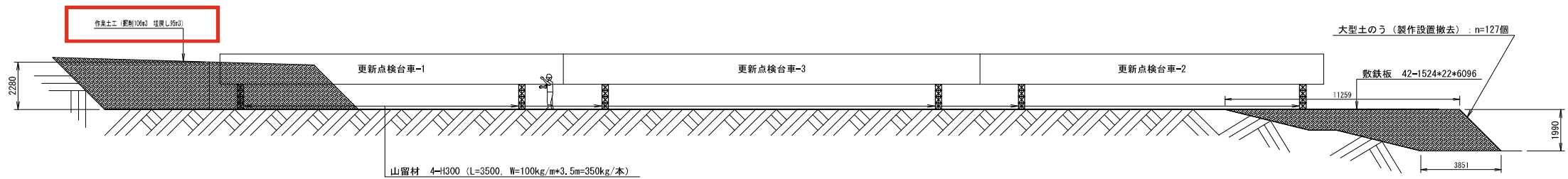
令和 6年度	設計年月日	令和 8年 2月	縮尺	図示	番	20/47
業務名	天保山大橋橋梁点検台車基本設計業務					
路線名	大阪府道高速湾岸線					
図名	仮設計画図（右岸側）					
設計者名	株式会社 長大					
担当部署	阪神高速道路株式会社管理本部管理企画部施設保全課					

仮設計画図（中央径間側）

平面図 S=1/1000



a - a S=1/250



作業フロー（案）

作業土工
大型土のう製作設置
敷鉄板設置
山留材設置
更新点検台車 搬入仮置き
更新点検台車 地組
更新点検台車 配線及び動作確認
更新点検台車 機手部塗装
作業用仮設備設置
吊元支持金具設置
既設控え検査台車 撤去降下
更新点検台車 上昇設置
更新点検台車 吊架台及び吊元支持金具撤去
既設控え検査台車 処分場へ搬出
更新点検台車 設置後試運転
更新点検台車 付帯設備設置
山留材、敷鉄板 撤去搬出／大型土のう撤去
作業土工

注記）
・着手前に現地再確認のこと。
・仮設備は概数につき詳細設計後に精査のこと。
・現地確認時は2025年日本国際博覧会開催に伴う臨時駐車場であったが施工時は撤去され地形改変が想定される。
・着手にあたり現況形状を再確認を行い現地測量等実施が必要。

設計 図	令和 6年度	設計年月日	令和 8年 2月	縮尺	図示	番 号	21/47
	業 務 名	天保山大橋橋梁点検台車基本設計業務					
	路 線 名	大阪府道高速湾岸線					
	図 名	仮設計画図（中央径間側）					
	設計者名	株式会社 長大					
	担当部署	阪神高速道路株式会社管理本部管理企画部施設保全課					

添付 1 0
< 特記仕様書(4-3-3) >

第4章 工事内容

4-1 工場製作工

工場製作は、詳細設計にて監督員の承諾を得てから製作仕様書、組立図等を作成し、監督員へ提出を行うこと。また、製作工場における材料の加工・組立等においては、自社基準および関係基準に基づき適切な加工・組立を実施し不良がないものとする。また、詳細設計において必要となった治具や機器類等は設計変更の対象とする。

4-2 工場製品輸送工

製作工場（組立工場）で仮組試験を行った後、3つのブロック単位で分割した機器を作業基地まで陸上輸送を想定している。3つの更新点検台車のうち、最も長尺の中央ブロック長さはそれぞれ略同一としてポールトレーラ運搬、長さの短い両サイドの2つのブロックはセミトレーラ運搬と想定している。また本体ブロックに付属する点検床、乗降歩廊は一括、1台の平ボディにより運搬する。これらのブロックは現地の作業基地に到着後、トラッククレーンで荷下ろしたあと、左右2組の吊り架台上に地組を行う。組立は高力ボルト接合とする。また、詳細設計において必要となった輸送工は設計変更の対象とする。

4-3 仮設工

4-3-1 作業土工（掘削・埋め戻し）

中央径間側、右岸側の点検台車を更新予定のAP-3 周囲について、点検台車の組立実施に伴い地表整地が必要なため、床掘りを行う-更新後は原型復旧を原則とする。詳細は仮設計画図（右岸側、中央径間側）を参照すること。

また、本工事で発生する残土については、大阪府都市整備推進センター阪南事業所（1200 円/t 、残土比重 1.8t/m³を想定）に搬出することを考えている。処分先、処分費および処分方法等に変更が生じた場合は、設計変更する。

4-3-2 大型土のう製作・設置、撤去

AP-3 周囲の地表整地後、大型土のうを製作設置する。更新後は原型復旧を原則とし、詳細は仮設計画図を参照すること。大型土のう製作の中詰め材土砂は現地産の利用を基本とする。ただし、右岸側については不足を伴うため購入し、購入の一部を埋め戻す想定である。

4-3-3 作業構台設置、撤去

AP-3 周囲について、点検台車の組立実施に伴い凹凸解消と平面確保が必要なため、作業構台を設置する。更新後は原型復旧を原則とする。詳細は仮設計画図（右岸側）を参照すること。

添付 1 1

<金額を記載しない
設計書の内訳書-8 >

仮設工

橋梁足場等設備工

内 訳 書

(1 式当り)

内訳書-8

[illegible]

添付 1 2

<金額を記載しない
設計書の工事費内訳書>

工 事 費 内 訳 書

工事費内訳書-1

価格構成	工事区分	工種	種別	単位	数量	単価	金額	摘要
工事費				式	1			
工事価格				式	1			
工場原価				式	1			
純工事費				式	1			
	鋼桁工事			式	1			
		工場製作工		t	95.200			
			橋梁点検台車製作工	t	95.200			内-1
工場管理費				式	1			
工事原価				式	1			
純工事費				式	1			
直接工事費				式	1			主たる工種： 鋼桁工事
	鋼桁工事			式	1			
		工場製品輸送工		t	95.200			
			輸送工	t	95.200			内-2
		橋梁点検台車更新工		式	1			

価格構成	工事区分	工種	種別	単位	数量	単価	金額	摘要
			既設点検台車撤去工	式	1			内－3
			更新点検台車設置工	式	1			内－4
			現場塗装工	m2	1.9			内－5
			係留工	式	1			内－6
		仮設工		式	1			
			作業ヤード整備工	式	1			内－7
			橋梁足場等設備工	式	1			内－8
			交通管理工	式	1			内－9
	共通仮設費			式	1			
		共通仮設費		式	1			
			運搬費	式	1			内－10
			現場環境改善費(率)	式	1			
		共通仮設費(率)		式	1			
	現場管理費			式	1			
	一般管理費等			式	1			
	詳細設計費			式	1			内－11
	消費税等相当額			式	1			